

ブロイラーにおける技術指針のポイント

1 旧指針からの主な変更点等について

(共通事項)

- 【実施が推奨される事項】と【将来実施が推奨される事項】とに区別して標記。
なお、現時点では、各項目についての目標年度は定めない。
- 鶏舎の構造や飼養方式別のメリット・デメリットは記述しない。また、1羽当たりの飼育スペース等、具体的な数値は削除した。
- チェックシートは2種類のまま。生産者に行ってほしいこと。
技術的な指針(旧チェックシート)と快適な状態であるかのチェックシート(新)
- 輸送と安楽死の指針を追加した。
- と鳥のAW指針は作成していない。厚生労働省と協議をしていく。
- クロスコンプライアンス導入への考え方

(個別事項)

- 本指針の対象は、初生ひなの農場への到着から農場から出荷されるまでが対象。
なお、地鶏等、ブロイラー以外の肉養鶏は準用する。

2 指針において、特に留意してほしい事項

- 観察・記録の重要性
- ビークトリミングは日常的に行わない。
- 鶏舎の構造、飼養方式と留意すべき事項
- 鶏舎の環境、特に換気や照明
- アニマルウェルフェアの状態確認、測定指標のポイント